

分野6 産業の活力とにぎわいのあふれるまち「ながの」(産業・経済分野)

政策1 魅力を活かした観光の振興

施策1 豊富な観光資源等を活かした観光交流促進 …施策番号 39

施策2 インバウンドの推進 …施策番号 40

施策3 コンベンションの誘致推進 …施策番号 41

政策2 活力ある農林業の振興

施策1 多様な担い手づくりと農地の有効利用の推進 …施策番号 42

施策2 地域の特性を活かした生産振興と販売力強化の促進 …施策番号 43

施策3 森林の保全と資源の活用促進 …施策番号 44

政策3 特色を活かした商工業の振興

施策1 商工業の強化と環境整備の促進 …施策番号 45

施策2 地域の特性が光る商工業の推進 …施策番号 46

施策3 新たな活力につながる産業の創出 …施策番号 47

政策4 安定した就労の促進

施策1 就労の促進と多様な働き方の支援 …施策番号 48

施策2 勤労者福祉の推進 …施策番号 49

1 施策の概要

施策番号	39（6-1-1）			テーマ① まち	テーマ② ひと	テーマ③ しごと
分 野	産業・経済分野	担当部局	観光文化部			
政 策	魅力を活かした観光の振興	担当課	観光振興課			
施 策	豊富な観光資源等を活かした観光交流促進					
施策の 目指す状態	豊富な観光資源を活かし、観光客でにぎわい観光消費額が増加している。					

※ SDGsとの関連

※ SDGsとの関連	社会							環境					経済				全体
	貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
																	
主要な目的に該当するゴール							○						○			○	○

2 指標の推移等

内 容		単位	基準値	後期基本計画期間中の実績値					目標値 (R8)
				R4	R5	R6	R7	R8	
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	長野市は、魅力的な観光都市である	%	(R3) 64.0	70.9	65.4	68.6		↑
	R 6 年度実績値の理由	関係団体と連携し、WebサイトやSNS等を活用して効果的に観光宣伝を実施したことにより基準値を上回った。							
	回答者自身の実践状況①	知人や友人などに地域の魅力を伝えている	%	(R3) 33.1	31.8	30.8	29.8		↑
	R 6 年度実績値の理由	基準値にはわずかに届かなかったものの、関係団体と連携し、WebサイトやSNS等を活用して効果的に観光宣伝を実施した。							
統計指標	市内観光宿泊者数(年)	観光庁「宿泊旅行統計調査」に基づく市内宿泊者数の推計	万人泊	(R2) 103.1	258.5	192.7	集計中		160.1
	R 6 年度実績値の理由	観光振興課							
	観光消費額	一人当たりの観光消費額の推計	円	(R2) 12,497	17,467	17,730	24,580		12,591
	R 6 年度実績値の理由	観光振興課	新型コロナウイルスによる影響が小さくなり、宿泊費、飲食費などが増加したことにより、基準値を大きく上回った。						
	観光入込客数	市内の主な観光地(11箇所)への入込客数の総計	万人	(R2) 448.5	1,340.7	930.8	957.7		1,092
	R 6 年度実績値の理由	観光振興課	新型コロナウイルスの影響から順調に回復し、北陸新幹線敦賀延伸や急速に回復するインバウンドの効果により昨年度を上回った。						

3 目標達成に向けた取組内容と実績

R 6 年度に目指す状態や指標の目標達成に向けて取り組んだ内容 (改善を行った内容を中心に記載)	・川中島古戦場や周辺地域への誘客、周遊促進を目的とし、市が所有する川中島の戦いに関する錦絵などの文化財を活用したデジタルコンテンツを開発し、デジタルスタンプラリーを開催するなど市の歴史、文化を活かした新たな観光コンテンツとして発信できた。 ・観光客が快適に滞在できる環境整備を目的にEバイクのレンタサイクル事業を引き続き行い、観光客の周遊促進や満足度向上に繋げた。 ・重点施策の地域資源を活かしたコンテンツの開発では、門前観光案内所の設置や戸隠地区でのスタンプラリー、松代地区での真田邸を活用した飲食バスツアーを行うなど、地域資源を活かした取組を行った。 ・松代では文化庁の補助事業を活用し、インバウンドを対象とした高付加価値ガイドマニュアルの作成や殿様御膳の開発を行った。
---	--

4 課題と今後の展開

目指す状態・指標達成に向けた課題	SDG s の視点からの課題（該当ゴール及び三側面のバランス）
インバウンドを含む観光客に選ばれる観光都市ながのを目指し、本市が持つHUB機能を最大限に活用し、観光の拠点としての役割を強化する必要があるため、観光客に訴求する魅力的なコンテンツの開発・提供を進めるとともに、効果的なプロモーション活動も併せて行う必要がある。	観光消費額を増加させることで、地域経済の活性化を図り、持続可能な観光都市となるような取組を実施していく必要がある。
上記課題の解決に向けて必要なこと（課題解決に向けてやるべきこと）	
（公財）ながの観光コンベンションビューローや市内外の様々なプレイヤーと連携し、新たな観光コンテンツの開発・推進に取り組むとともに、継続的かつ効果的な観光情報の発信を強化する。また、本市が有する観光コンテンツに加え、周辺地域の魅力的なコンテンツを併せて発信することで、本市を拠点とした広域的な観光戦略を展開する必要がある。	

1 施策の概要

施策番号	40（6-1-2）	テーマ① まち			テーマ② ひと	テーマ③ しごと
分 野	産業・経済分野	担当部局	観光文化部			
政 策	魅力を活かした観光の振興	担当課	観光振興課			
施 策	インバウンドの推進					
施策の 目指す状態	外国人観光客の誘客に向けた効果的な情報発信を行うとともに、充実した受入環境の下で外国人観光客が快適に滞在している。					

※ SDGsとの関連

※ SDGsとの関連	社会							環境					経済				全体
	貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
																	
主要な目的に該当するゴール							○						○	○			○

2 指標の推移等

内 容		単位	基準値	後期基本計画期間中の実績値					目標値 (R8)
				R4	R5	R6	R7	R8	
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	〔再掲：長野市は、魅力的な観光都市である〕	%	(R3) 64.0	70.9	65.4	69.0		↑
	R 6 年度実績値の理由	インバウンド観光客の増加とそれに伴う受入環境の整備により、市民が客観的に見て長野市が観光地として魅力的な街と感じる人が増えたため。							
	回答者自身の実践状況①	困っている外国人観光客を見かけた時、なるべく手助けするよう心がけている	%	(R3) 33.0	33.7	36.5	35.0		↑
	R 6 年度実績値の理由	徐々に数値は上がってきているものの、急激なインバウンド観光客の増加により、市民に戸惑いが生じているため。							
統計指標	市内外国人宿泊者数(年)	長野県「外国人延宿泊者数調査」に基づく外国人の市内宿泊者数の推計	人泊	(R2) 24,344	28,911	192,815	R7.12 公表予定		105,671
	R 6 年度実績値の理由	観光振興課	国内のインバウンドは急増しており、地方における宿泊者数もコロナ禍前と比較して同程度まで回復した。						

3 目標達成に向けた取組内容と実績

R 6 年度に目指す状態や指標の目標達成に向けて取り組んだ内容 (改善を行った内容を中心に記載)	- 外国人観光客が長野市を訪れ、長野市内での消費を促すために長野市内の飲食店等を紹介したサイトの紹介（紙媒体、広告）や長野市内のイベントの紹介（広告）を実施した。 - 外国人観光客の受入体制整備のため、宿泊事業者向けにセミナーを開催した。 - 白馬村に滞在する外国人観光客の長野市への回遊を促すため、白馬ー長野特急バスの延伸、増便を行った。
---	--

4 課題と今後の展開

目指す状態・指標達成に向けた課題	SDGs の視点からの課題（該当ゴール及び三側面のバランス）
J R 長野駅を起点として、山ノ内町や白馬村、野沢温泉村など周辺地域へ向かう外国人観光客が多い。長野市内の善光寺、戸隠、松代などの魅力的な観光資源がある。これらの認知向上を行い、長野市内への回遊（滞在時間の延長、長野市内での消費拡大）を促す必要がある。	人口減少が進んでいる中、インバウンドによる観光消費額で市内の経済規模を維持させる必要がある。
上記課題の解決に向けて必要なこと（課題解決に向けてやるべきこと）	
長野市の観光コンテンツや飲食店等の認知を向上させるとともに、インバウンドの滞在時間延長や消費額拡大につながる取組を民間事業者（宿泊、飲食）と連携し実施していく。	

1 施策の概要



施策番号	41 (6-1-3)		
分野	産業・経済分野	担当部局	観光文化部
政策	魅力を活かした観光の振興	担当課	観光振興課
施策	コンベンションの誘致推進		
施策の 目指す状態	多様なコンベンションが開催され、参加者でにぎわっている。		

※ SDGsとの関連

※ SDGsとの関連	社会							環境					経済				全体
	貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
																	
主要な目的に該当するゴール							○						○			○	○

2 指標の推移等

内 容			単位	基準値	後期基本計画期間中の実績値					目標値 (R8)
					R4	R5	R6	R7	R8	
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	コンサートやスポーツ大会などのイベントの開催により、にぎわいが生まれている	%	(R3) 34.4	43.6	43.6	41.8			↗
	R 6 年度実績値の理由	コロナ禍前と比較し、コンベンション開催件数がほぼ同水準まで回復したもの								
	回答者自身の実践状況①	(設定なし)	-	(R3) -	-	-	-	-	-	—
	R 6 年度実績値の理由									
統計指標	コンベンションの参加者数	ながの観光コンベンションビューローが誘致・支援したコンベンションへの参加者数	人	(R2) 10,220	65,279	77,468	78,180			120,000
	R 6 年度実績値の理由	観光振興課	コロナ禍前と比較しコンベンション開催件数は同水準まで回復したものの、リアルとオンラインを併用したハイブリッド型開催が定着したことにより、基準値には届かなかった							

3 目標達成に向けた取組内容と実績

R 6 年度に目指す状態や指標の目標達成に向けて取り組んだ内容 (改善を行った内容を中心に記載)	・市内経済の活性化のため、コンベンション誘致事業や支援事業を行った。 ・主催者に対し開催経費を助成することにより、コンベンションの開催促進を図った。 ・コンベンションに関する各種ガイドブックや専用サイトの情報を適宜最新のものに更新した。 ・学会等の案件発生が見込まれる高等教育機関との連携強化を推進し、協定締結に向けた取組を行った。 ・観光庁「コンベンションビューロー支援事業」の対象都市に選定され、国際MICEの誘致力向上に向けた研修を受講し、知見を深めた。
---	--

4 課題と今後の展開

目指す状態・指標達成に向けた課題	SDGs の視点からの課題（該当ゴール及び三側面のバランス）
・（公財）ながの観光コンベンションビューローや各観光協会との連携を更に強化し、多くのコンベンションを誘致することで、参加者が大会前後に長く市内に滞在していただき、地域経済への波及を高める必要がある。	・多くのコンベンションを誘致し、賑わいを創出することで、持続可能な地域経済の活性化を図っていく必要がある。
上記課題の解決に向けて必要なこと（課題解決に向けてやるべきこと）	
・市内や外郭団体に対して、コンベンションの開催予定に関する調査を行い、その回答をもとに、（公財）ながの観光コンベンションビューローと連携して、コンベンション開催に向けた分野横断型の誘致活動を行う。 ・観光振興計画に基づき、オリンピック関連施設や美術館等を積極的に活用し、国内外の各種コンベンションやスポーツ大会、イベント等の誘致を推進し、本市への誘客とにぎわいの創出につなげる。	

6-2-1

1 施策の概要

施策番号	42（6-2-1）	テーマ① まち テーマ② ひと テーマ③ しごと		
分 野	産業・経済分野	担当部局	農林部	
政 策	活力ある農林業の振興	担当課	農業政策課	
施 策	多様な担い手づくりと農地の有効利用の推進			
施策の 目指す状態	農地が有効に利用され、専業農家のほか多様な担い手が農業に取り組んでいる。			

※ SDGsとの関連

※ SDGsとの関連	社会							環境					経済				全体
	貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
	1	2	3	4	5	10	16	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17
																	
主要な目的に該当するゴール		○					○						○	○	○		○

2 指標の推移等

内 容			単位	基準値	後期基本計画期間中の実績値					目標値 (R8)	
					R4	R5	R6	R7	R8		
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	高齢者や女性がいきいきと農業に従事し、最近では若者が農業をする姿も見受けられる		%	(R3) 25.6	31.8	28.3	27.1			↗
	R 6 年度実績値の理由	農業に従事している高齢者が増えていることを実感する肯定的評価が多い一方、農業に関わる若者がいない（少ない）と感じている否定的評価は、全世代を通じて高い状況である。									
	回答者自身の実践状況①	野菜や果物づくりなどを楽しんでいる		%	(R3) 42.4	42.2	40.3	39.8			↗
	R 6 年度実績値の理由	高齢者世代は、自ら家庭菜園や畑で野菜や果物などを作っていると肯定的評価が多い。若年層は身の回りに農作物づくりの環境がないことなどを理由に、肯定的評価が低い状況である。									
統計指標	地域の中心経営体数	人・農地プランに掲載されている者の数		人	(R2) 629	763	871	977			671
	R 6 年度実績値の理由	農業政策課	農地中間管理事業の利用が増加したことにより、同事業の利用条件となる地域の中心経営体数が増加したため。								
	農地の利用権設定面積	農業委員会事務局農地情報公開システム登録面積		ha	(R2) 752.7	862.9	904.4	980.0			992.7
	R 6 年度実績値の理由	農業政策課	農業者の高齢化や後継者不足が進む中、新たな担い手への権利移動等による利用権設定面積が増加したため。								

3 目標達成に向けた取組内容と実績

R 6 年度に目指す状態や指標の目標達成に向けて取り組んだ内容 (改善を行った内容を中心に記載)	・市内33地区での話し合いを基に「地域計画」(旧「人・農地プラン」)を策定し、農地中間管理事業などの実施により中心経営体への農地の集約を進めるとともに、新規就農者に対する相談会の実施や支援体制を充実させて新たな担い手の確保を進めた。 ・独立自営新規就農者へ経営開始に向けた支援を進めるとともに、親元就農者支援事業の対象年齢拡大により、地域の中心的な農業の担い手である認定農業者の子弟の就農促進を行った。 ・農業研修センターにおいて、定年帰農者、農業に携わりたい人や企業など多様な人材を新たな担い手として育成するため、研修コースごとに野菜栽培の技術指導を行った。
---	--

4 課題と今後の展開

目指す状態・指標達成に向けた課題	SDGsの視点からの課題 (該当ゴール及び三側面のバランス)
・新規就農者及び認定農業者の確保育成 ・農業の多様な担い手の確保育成 ・「地域計画」に基づく農地集約の促進	持続可能な食料生産システムの確保に向け、次世代を担う就農者の確保育成と、担い手への農地の集積・集約による農地の遊休荒廃化の抑止
上記課題の解決に向けて必要なこと (課題解決に向けてやるべきこと)	
・農地貸出しや農業の継承希望を農業委員や長野市農業公社と連携するとともに、「地域計画」のブラッシュアップを図り、更なる農地流動化を推進する。 ・新規就農者及び認定農業者への支援制度の周知と経営改善指導や栽培技術支援などのフォローアップを行う。 ・農業研修センターの研修コース拡充により、幅広い人材確保や技術習得の推進を図る。	

6-2-2

1 施策の概要

施策番号	43（6-2-2）			テーマ① まち	テーマ② ひと	テーマ③ しごと
分 野	産業・経済分野	担当部局	農林部			
政 策	活力ある農林業の振興	担当課	農業政策課			
施 策	地域の特性を活かした生産振興と販売力強化の促進					
施策の 目指す状態	りんご、もも、ぶどうなどの高品質で安全・安心なおいしい農産物が生産され、高い評価を得ている。					

※ SDGsとの関連

※ SDGsとの関連	社会							環境					経済				全体
	貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
	1 貧困削減	2 飢餓ゼロ	3 健康とウェルビーイング	4 質の高い教育をみんなに	5 男女の平等	10 人や国の不平等をなくそう	16 平和と公正	6 安全な水と衛生	7 再生可能エネルギー	13 気候変動に具体的な対策を	14 海洋資源を豊かに	15 陸の豊かさを守る	8 持続可能な成長を創出	9 産業とインフラの振興	11 持続可能な都市とコミュニティ	12 持続可能な消費と生産	17 パートナリーシップを強化
																	
主要な目的に該当するゴール		○					○						○	○		○	○

2 指標の推移等

内 容		単位	基準値	後期基本計画期間中の実績値					目標値 (R8)
				R4	R5	R6	R7	R8	
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	りんご、もも、ぶどうなどの、おいしい農産物が生産されている地域である	%	(R3) 92.0	91.7	90.3	91.2		→
	R 6 年度実績値の理由	積極的な情報発信やPRの効果もあり、本市がりんご、もも、ぶどうなど良質な果樹産地であることについて市民への浸透が進み、全世代において肯定的評価が高くなっている。							
	回答者自身の実践状況①	地元産の農作物を買うように心がけている	%	(R3) 84.0	80.4	78.8	79.4		→
	R 6 年度実績値の理由	農作物の購入に際しては、特に30～39歳代で価格重視の意見が多い一方、地産地消推進の取組みなどにより、新鮮で安心な地元産農作物の購入への意識が高くなっている。							
統計指標	果樹の新品種・新技術導入による栽培面積	りんご新わい化、ぶどう新品種の栽培面積推計値	ha	(R2) 120.5	176.8	154.7	168.9		180.5
	R 6 年度実績値の理由	農業政策課	りんごの新わい化による栽培面積は減少しているものの、ぶどう新品種への転換がそれ以上に増加し、合計の栽培面積が増加したため。						
	市の農業生産額	市内で生産される農作物の生産額推計値の令和3年度から5年間の累計	億円	(R2) 192.6	191.9	395.1	608.2		1,020
	R 6 年度実績値の理由	農業政策課	農産物価格が上昇したため。						

3 目標達成に向けた取組内容と実績

R 6 年度に目指す状態や指標の目標達成に向けて取り組んだ内容 (改善を行った内容を中心に記載)	・農作業の省力化及び多収化を図るため、りんごの「新わい化栽培」の導入を支援した。 ・高収入が見込まれるシャインマスカット等のぶどうの栽培面積の増加を図るため、ぶどう新品種推進や振興果樹等苗木導入等に係る補助金を交付した。 ・地域奨励作物（小麦・大豆・そば・枝豆）に対し補助金を交付し、生産量を増やすとともに、農地の遊休荒廃化を抑制し、地産地消を推進した。 ・「長野市産果樹ブランド化戦略」に基づき、PRイベント実施や販売促進活動を実施した。
---	---

4 課題と今後の展開

目指す状態・指標達成に向けた課題	SDGsの視点からの課題（該当ゴール及び三側面のバランス）
・農業の後継者不足、農業従事者の高齢化の進行 ・本市農業の主体である果樹の生産性向上及び高付加価値 ・農地の遊休荒廃化防止及び中山間地域農業の振興	農業生産活動のイノベーションを支援するため、新品種・新栽培技術の導入を促すとともに、スマート農業技術の活用を図る。
上記課題の解決に向けて必要なこと（課題解決に向けてやるべきこと）	
・りんごの新わい化等の導入による省力化及び、ぶどう等の新新種の苗木の導入等による生産性の向上。 ・地域奨励作物（小麦・大豆・そば・枝豆）に対する補助金交付の継続。 ・中山間地域優良農地復元事業などの活用による遊休荒廃農地の農地復元を支援する。 ・本市の果樹産地イメージの更なる定着を図り、ブランド確立を推進する。	

6-2-3

1 施策の概要

施策番号	44 (6-2-3)	分野横断 テーマ① まち	分野横断 テーマ③ しごと
分野	産業・経済分野	担当部局	農林部
政策	活力ある農林業の振興	担当課	森林いのしか対策課、新産業創造推進局
施策	森林の保全と資源の活用促進		
施策の 目指す状態	森林が守り育てられ、森林資源が有効に活用されている。		

※ SDGsとの関連

※ SDGsとの関連	社会							環境					経済				全体
	貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
																	
主要な目的に該当するゴール							○		○			○	○	○	○		○

2 指標の推移等

内 容			単位	基準値	後期基本計画期間中の実績値					目標値 (R8)
					R4	R5	R6	R7	R8	
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	森林が整備されている地域である	%	(R3) 41.7	41.5	40.3	38.9			↗
	R 6 年度実績値の理由	森林整備は単年度で結果が表れるものではなく評価自体もしにくいいため、アンケート回答者の違いによる主観の差が評価に影響していると思われる。長期的な評価が向上するよう継続的な事業実施に努めたい。								
	回答者自身の実践状況①	(設定なし)	-	(R3) -	-	-	-	-	-	—
	R 6 年度実績値の理由									
統計指標	搬出間伐による木材生産量	県・市への木材生産補助申請実績	m ³	(R2) 9,773	10,409	6,372	7,402			15,000
	R 6 年度実績値の理由	森林いのしか対策課	林業事業体と協力して森林整備を行う森林の集約化を進めたが、施業実施の合意形成に時間を要したため、集約化が進まなかったもの							

3 目標達成に向けた取組内容と実績

R 6 年度に目指す状態や指標の目標達成に向けて取り組んだ内容 (改善を行った内容を中心に記載)	・森林所有者や整備する森林の調査を林業事業体と協力して行った。 ・森林整備を実施する林業事業体をフォレストワーカー育成事業により支援した。 ・市産材普及事業により庁舎にテーブル等の木製品を設置した。 ・森林とのふれあい体験を進めるため、ながの森林・林業フェア、桜スクエア森林フェアを開催した。 ・学んで使おう木育プロジェクトにより市内の保育園や幼稚園等に積み木や森林に関する絵本を配布した。 ・ドローンを活用したスマート林業により立木資源解析を行った。
---	---

4 課題と今後の展開

目指す状態・指標達成に向けた課題	SDGs の視点からの課題 (該当ゴール及び三側面のバランス)
・木材価格の低迷による森林所有者の森林整備への意欲の低下 ・森林の境界や、所有者不明地の増加 ・林業の担い手の減少 ・手入れの遅れた森林と伐採時期を迎えた森林の増加	再生可能な木材資源の有効活用を推進するため、持続可能な経営管理が必要である。
上記課題の解決に向けて必要なこと (課題解決に向けてやるべきこと)	
長野市森林経営管理計画に基づき以下の4つの基本方針により森林整備を進める。	
・森林整備の推進 ・林業従事者の確保・育成と先端技術の導入 ・森林とのふれあいの促進 ・木材利用の普及	

1 施策の概要

分野横断
テーマ③
しごと

施策番号	45 (6-3-1)		
分野	産業・経済分野	担当部局	経済産業振興部
政策	特色を活かした商工業の振興	担当課	商工労働課
施策	商工業の強化と環境整備の促進		
施策の 目指す状態	持続可能で足腰の強い商業活動や工業生産が展開され、地域外からの利益が取り込まれている。		

※ SDGsとの関連

※ SDGsとの関連	社会							環境					経済				全体
	貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
																	
主要な目的に該当するゴール							○						○	○			○

2 指標の推移等

内 容		単位	基準値	後期基本計画期間中の実績値					目標値 (R8)
				R4	R5	R6	R7	R8	
アンケート 指標	環境・体制に関する評価①	市内に個性的で魅力的なお店が増えている	%	(R3) 37.3	42.2	40.1	38.9		↗
	R 6 年度実績値の理由	20歳～49歳等の世代で肯定的評価の回答が減少しており、前年と比べて実績値は減少しているが、善光寺周辺に個性的なお店がある等の意見もあり、目標値は達成できている。							
	環境・体制に関する評価②	活力のある企業が多い地域である	%	(R3) 30.1	29.9	28.9	27.9		↗
	R 6 年度実績値の理由	30歳代～40代では肯定的評価の回答が増加したが、ほかの世代で否定的な回答が増加したため。							
	回答者自身の実践状況①	地元のお店で買い物をするように心がけている	%	(R3) 79.9	80.3	80.1	79.5		→
統計指標	R 6 年度実績値の理由	40歳以上の世代で肯定的評価の回答が減少しており、前年と比べて実績値は減少しているが、地元のお店の買物を意識している等の意見もある。							
	長野市 1 世帯あたりの市内での月間消費支出額	長野市 1 世帯あたりの月間消費支出額に長野市の地元滞留率を乗じて推計	円	(R2) 132,759	125,594	144,380	139,458		160,000
	R 6 年度実績値の理由	商工労働課	前年と比べて食料等に係る支出額が増加しているが、地元滞留率が低下しており、1世帯あたりの月間消費支出額が減少している。						
	製造品出荷額等 (年)	経済センサスまたは工業統計調査による従業者 4 人以上の事業所の出荷額	億円	(R2) 5,938	5,775	6,121	6,456		6,802
統計指標	R 6 年度実績値の理由	商工労働課	産業分類別で「電子部品・デバイス・電子回路製造業」の出荷額が最も多く、年々増加している。						

3 目標達成に向けた取組内容と実績

R 6 年度に目指す状態や指標の目標達成に向けて取り組んだ内容 (改善を行った内容を中心に記載)	・街路灯等維持管理事業 (R 6 : 2 件)、商店街電灯料助成事業 (R 6 : 49 件)、賑わい演出事業補助金 (R 6 : 14 件) 等により、商店街団体が行う商店街の環境整備を支援した。 ・株式会社まちづくり長野のまちづくり活動 (非営利部門) を支援するための運営補助金を交付した。 ・事業承継促進補助金により、中小企業者の事業承継に対して補助金を交付し、事業継続を支援した。 ・金融機関に資金を預託し、中小企業や小規模事業者、創業間もない事業者などの事業活動に必要な資金の融資を行った。 ・中小企業等に対し、デジタル化やDXによる生産性向上をより強力的に促すため、高等教育機関、商工団体及び金融機関などと連携しながら、専門人材育成支援、企業への伴走支援、資金的支援を総合的に行った。
---	---

4 課題と今後の展開

目指す状態・指標達成に向けた課題	SDG s の視点からの課題（該当ゴール及び三側面のバランス）
・商工業活動が将来に渡って持続していくために、より一層、商工会議所等と連携して、中小企業者の経営基盤の強化等に取り組むことが求められている。 ・現在の物価高騰やアメリカの関税問題など激変する社会情勢の中、企業活動を持続可能としていくために、企業の生産性向上や製品・サービスの付加価値向上、経営基盤の強化が急務である。	・人口減少が進む中、商工業活動が持続するため、企業活動の省力化・効率化、経営基盤の強化などの支援が急務である。
上記課題の解決に向けて必要なこと（課題解決に向けてやるべきこと）	
・中小企業者の持続的な発展と地域経済の活性化を図っていくため、商工団体などの専門知識や情報を定期的に共有しながら、より効果的な支援体制を構築していく。 ・物価高騰やアメリカの関税問題など中小企業等における状況は厳しさを増す中で、デジタル技術による企業の生産性向上や付加価値向上を促進していくため、データ活用人材の育成を行うとともに、自社の課題整理からDX推進計画の策定までの伴走支援を積極的に行っていく。	

6-3-2

1 施策の概要

施策番号	46 (6-3-2)		
分野	産業・経済分野	担当部局	経済産業振興部
政策	特色を活かした商工業の振興	担当課	商工労働課
施策	地域の特性が光る商工業の推進		
施策の 目指す状態	中心市街地、中山間地域などの地域ごとにある様々な特性を活かし、商工業に活気があり、まちがにぎわうとともに、本市の特長を活かした新製品・新技術が開発され、企業活動が活性化している。		

分野横断
テーマ③
しごと

※ SDGsとの関連

※ SDGsとの関連	社会							環境					経済				全体
	貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
	1 貧困	2 飢餓	3 健康とウェルビーイング	4 質の高い教育をみんなに	5 男女の平等	10 人や国々の間での格差をなくす	16 平和と公正	6 清潔な水と衛生	7 再生可能エネルギー	13 気候変動に具体的な対策を	14 海洋資源を豊かに保ち、持続的に利用する	15 陸の豊かさを保ち、持続的に利用する	8 持続可能な成長を促進する	9 産業とインフラの基盤を強化する	11 持続可能な都市とコミュニティを創出する	12 持続可能な消費と生産	17 パートナーシップを世界に広げる
																	
主要な目的に該当するゴール							○						○	○		○	○

2 指標の推移等

内 容		単位	基準値	後期基本計画期間中の実績値					目標値 (R8)
				R4	R5	R6	R7	R8	
アンケート 指標	環境・体制に関する評価①	〔再掲：市内に個性的で魅力的なお店が増えている〕	%	(R3) 37.3	42.2	40.1	38.9		↗
	R 6 年度実績値の理由	20歳～49歳等の世代で肯定的評価の回答が減少しており、前年と比べて実績値は減少しているが、善光寺周辺に個性的なお店がある等の意見もあり、目標値は達成できている。							
	環境・体制に関する評価②	〔再掲：活力のある企業が多い地域である〕	%	(R3) 30.1	29.9	28.9	27.9		↗
	R 6 年度実績値の理由	30歳代～40代では肯定的評価の回答が増加したが、ほかの世代で否定的な回答が増加したため。							
	回答者自身の実践状況①	〔再掲：地元のお店で買い物をするように心がけている〕	%	(R3) 79.9	80.3	80.1	79.4		→
統計 指標	R 6 年度実績値の理由	40歳以上の世代で肯定的評価の回答が減少しており、前年と比べて実績値は減少しているが、地元のお店の買物を意識している等の意見もある。							
	長野市1世帯あたりの市内での月間消費支出額（再掲：施策番号45）	長野市1世帯当たりの月間消費支出額に長野市の地元滞留率を乗じて推計	円	(R2) 132,759	125,594	144,380	139,458		160,000
	R 6 年度実績値の理由	商工労働課	前年と比べて食料等に係る支出額が増加しているが、地元滞留率が低下しており、1世帯当たりの月間消費支出額が減少している。						
	製造品出荷額等（年）（再掲：施策番号45）	経済センサスまたは工業統計調査による従業員4人以上の事業所の出荷額	億円	(R2) 5,938	5,775	6,121	6,456		6,802
	R 6 年度実績値の理由	商工労働課	産業分類別で「電子部品・デバイス・電子回路製造業」の出荷額が最も多く、年々増加している。						

3 目標達成に向けた取組内容と実績

R 6 年度に目指す状態や指標の目標達成に向けて取り組んだ内容 (改善を行った内容を中心に記載)	・ 中心市街地の空き店舗、空き家等を活用して出店する者が実施する出店の取組に対して補助金を交付した。 ・ 首都圏での物産展や市内でのマルシェ等を開催し、市内の物産の紹介及び即売等を実施した。 ・ ものづくり支援センターに配置したインキュベーションマネージャーが積極的に企業訪問し、企業の研究開発に対する補助金の活用を促すとともに国の開発補助金の申請の相談を行うなど、ものづくり企業への支援を行った。また、新技術等共同研究開発事業補助金については、従来の「ものづくり研究開発分野」に加え、「情報通信分野」の枠も設けており、製造業と情報通信業の技術力及び付加価値の向上を目指した。 ・ 企業が単独または連携で行う新製品の開発や販路開拓に対しては、「新産業創出・販路開拓事業補助金」を交付するなど新技術の開発及び販路開拓について支援を行った。
---	---

4 課題と今後の展開

目指す状態・指標達成に向けた課題	SDG s の視点からの課題（該当ゴール及び三側面のバランス）
・本市の隣接地域に大型商業施設が立地するなど、商圈の変動が激しい中、地域の魅力や特性を活かし、関係機関等と連携を図りながら、事業者の販売や集客を促進していくことが求められている。 ・本市の「電子部品・デバイス・電子回路製造業」の出荷額が増加傾向にある中、長野市ものづくり支援センターを拠点とした新技術創出や技術革新など、長野市域を中心に特性を活かした産業の活性化が求められている。	・持続可能な経済成長を進めるため、環境負荷の低減を図る必要がある。 ・産学官の連携により、企業の人材を確保し、新技術等の創出、持続可能な企業活動を進めていく必要がある。
上記課題の解決に向けて必要なこと（課題解決に向けてやるべきこと）	
・中心市街地の空き店舗、空き家等を活用して出店する者が実施する出店の取組を支援していく。 ・関係機関と連携し、市内の物産の紹介及び即売等を通じて、事業者の販路の拡張等を支援していく。 ・地域企業の特性を生かした新技術の開発や販路の開拓といった企業活動を支援していく。	

1 施策の概要

施策番号	47 (6-3-3)		
分野	産業・経済分野	担当部局	経済産業振興部
政策	特色を活かした商工業の振興	担当課	商工労働課、イノベーション推進課、企業立地課
施策	新たな活力につながる産業の創出		
施策の 目指す状態	自然の循環と経済の発展を両立させる、長野らしい産業の創造に向け、創造性豊かな人材や企業が 集積し、オープンイノベーションや起業・創業などの動きが始まっている。		



※ SDGsとの関連

※ SDGsとの関連	社会							環境					経済				全体
	貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
																	
主要な目的に該当するゴール							○						○	○			○

2 指標の推移等

内 容		単位	基準値	後期基本計画期間中の実績値					目標値 (R8)
				R4	R5	R6	R7	R8	
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	新しいお店や会社を興そうとする人が増えてきている	%	(R3) 40.0	31.0	27.8	29.3		↑
	R 6 年度実績値の理由	30歳以上の世代で否定的評価の回答が肯定的評価の回答を上回っているが、前年と比べて実績値は増加しており、新しいお店を見かける等の意見もある。							
	回答者自身の実践状況①	(設定なし)	-	(R3) -	-	-	-	-	-
	R 6 年度実績値の理由								
統計指標	大学等と共同で新技術・新製品の開発を行う件数	長野市新技術等共同（旧ものづくり）研究開発事業の選定を経て、大学等と共同開発を行う事業の延べ件数【H17からの累計】	件	(R2) 45	51	56	59		62
	R 6 年度実績値の理由	商工労働課	応募件数は7件（内採択3件）と、延べ件数は順調に伸びている。						

3 目標達成に向けた取組内容と実績

R 6 年度に目指す状態や指標の目標達成に向けて取り組んだ内容 (改善を行った内容を中心に記載)	- 本市経済の基盤強化及び持続的な発展を図り都市としての活力を高めるため、産業用地整備や企業誘致等の立地促進施策の方向性を示した「長野市産業立地ビジョン」を策定した。 - 篠ノ井駅西口産業用地を整備し分譲するとともに、官民連携で進めているエムウェーブ南産業団地開発事業の進捗を図った。また、事業用地取得助成金の見直し・拡充を図るとともに、市内企業のDXなど生産性向上にも期待が寄せられるICT産業の企業誘致に取り組んだ。 - スタートアップをはじめとする起業につなげるため、スタートアップを理解するセミナー、アイデアピッチ等の各種イベントを行うほか、事業構想段階からの支援や起業後間もないスタートアップ等に対する伴走支援などを随時実施することで、起業家数の増加に取り組んだ。 - 中心市街地の空き店舗、空き家等を活用して出店する事業者に対し、「まちなかパワーアップ空き店舗等活用事業補助金」を交付した。
---	--

4 課題と今後の展開

目指す状態・指標達成に向けた課題	SDGsの視点からの課題（該当ゴール及び三側面のバランス）
- 企業立地促進に向けた施策の方向性を示すため「長野市産業立地ビジョン」の実現に向け、事業を推進する必要がある。 - 労働生産性の向上に向け、新産業の担い手となる新たなプレーヤーの育成等を強化していく必要がある。	様々な産業の担い手を生み出し雇用を含む経済の持続性を担保するエコシステムの構築につながる活動を支援していく必要がある。
上記課題の解決に向けて必要なこと（課題解決に向けてやるべきこと）	
- 用地需要に応えるため新たな産業用地の提供に向けた取組を進めるとともに、市内の立地環境を幅広く広報し、企業の立地ニーズに即した誘致活動及び立地環境整備を進めていく。 - 起業意識の醸成、起業の準備段階からの支援や起業後間もない起業家への支援等、スタートアップをはじめとする産業の新たな担い手の創出に取り組むとともに、イノベーションを起こしたいと考える市内企業の新規事業創出につながる取組を実施する。	

1 施策の概要

施策番号	48（6-4-1）			テーマ② ひと	テーマ③ しごと
分 野	産業・経済分野	担当部局	経済産業振興部		
政 策	安定した就労の促進	担当課	商工労働課		
施 策	就労の促進と多様な働き方の支援				
施策の 目指す状態	企業の特長や求人に関する情報が容易に入手でき、働き方改革が推進されるなどの多様な働き方が可能になることで、就労が促進されるとともに、様々な人が就労しやすい環境が整備されている。				

※ SDGsとの関連

※ SDGsとの関連	社会							環境					経済				全体
	貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
	1	2	3	4	5	10	16	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17
																	
主要な目的に該当するゴール				○	○	○	○						○				○

2 指標の推移等

内 容			単位	基準値	後期基本計画期間中の実績値					目標値 (R8)
					R4	R5	R6	R7	R8	
アン ケ ー ト 指 標	環境・体制に関する評価①	仕事を見つけやすい環境が整っている	%	(R3) 13.7	16.4	17.7	16.1			↑
	R 6 年度実績値の理由	ハローワークの求人情報等、インターネットやSNSなどにより求人情報など取得しやすくなっているが、望んでいる仕事を見つけにくく、肯定的な評価が減少した。								
	回答者自身の実践状況①	(設定なし)	-	(R3) -	-	-	-	-	-	-
	R 6 年度実績値の理由									
統 計 指 標	推計就業者数	課税資料のうち、給与支払報告書や確定申告書、市・県民税申告書を有する者の人数を「推計就業者数」として推計	人	(R2) 207,648	206,701	207,222	207,471			210,000
	R 6 年度実績値の理由	商工労働課	(数値はR5の実績値) R5年度の新型コロナの5類移行に伴う経済活動の再開により、徐々に回復傾向にある。							

3 目標達成に向けた取組内容と実績

R 6 年度に目指す状態や指標の目標達成に向けて取り組んだ内容 (改善を行った内容を中心に記載)	・若者のUJIターン就職促進を図るため、長野地域若者就職促進協議会による就職情報サイト「おしごとながの」の運営のほか、長野地域の企業と若者をつなげる場「ナガノのシゴト博」を東京で対面開催した。「ナガノのシゴト博」では、地域企業とのマッチングを推進するとともに、移住ニーズの高まりに応じ、移住相談など地域の魅力発信に取り組んだ。 ・「長野市職業相談室」では、職業に関する相談への指導・助言、キャリアカウンセリング、求人情報の提供の他、社会保険労務士による労働相談、公認心理師による心理カウンセリングなど、就労支援に取り組んだ。 ・高齢者の社会参加の観点から、年齢に関わらず活躍できる社会の実現を目指して、就労支援セミナーの開催や就労相談会の実施、シニア人材の活用推進に取り組んだ。
---	---

4 課題と今後の展開

目指す状態・指標達成に向けた課題	SDGsの視点からの課題（該当ゴール及び三側面のバランス）
・人口減少、少子高齢化が著しく進み、市内の企業では、人手不足が常態化している。 ・若者のUJIターン就職数の減少は著しい。 ・コロナ禍以降、職場環境面において、テレワークの普及などによる対面機会の減少など、労働環境の変化が著しいことから、職業相談のニーズが高まっている。	・持続可能な経済成長を生むため、安定した雇用の確保が必要 ・若者・女性・高齢者や、就職氷河期世代などのニーズに応じた働き方への支援が必要
上記課題の解決に向けて必要なこと（課題解決に向けてやるべきこと）	
・国、県、隣接する市町村、関係機関と連携し、SNSなど様々なツールを活用することで、広く企業情報を発信するとともに、様々な世代の就業、企業の人材確保につながる支援を進める。 ・労働環境問題、仕事とのミスマッチなどに対し、職業相談事業を進め、安定した就労環境形成を支援する。	

1 施策の概要

分野横断
テーマ③
しごと

施策番号	49 (6-4-2)		
分野	産業・経済分野	担当部局	経済産業振興部
政策	安定した就労の促進	担当課	商工労働課
施策	勤労者福祉の推進		
施策の 目指す状態	中小企業の福利厚生や研修の機会が確保され、勤労者がいきいきと働いている。		

※ SDGsとの関連

主要な目的に該当するゴール	社会							環境					経済				全体
	貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
							○						○				○

2 指標の推移等

内 容		単位	基準値	後期基本計画期間中の実績値					目標値 (R8)
				R4	R5	R6	R7	R8	
アンケート指標	環境・体制に関する評価①	市内に勤める知人や友人がいきいきと働いている	%	(R3) 33.6	33.8	32.7	31.5		↑
	R6年度実績値の理由	物価高騰などの影響で実質賃金の上昇が抑えられ、生活に余裕がないと感じる意見があり、前年より否定的な評価が増加した。							
	回答者自身の実践状況①	(設定なし)	-	(R3) -	-	-	-	-	-
	R6年度実績値の理由								
統計指標	長野市勤労者共済会への加入者割合	市内の中小企業勤労者数に占める長野市勤労者共済会の会員数の割合(4月1日時点)	%	(R2) 11.2	11.2	11.0	11.1		11.3
	R6年度実績値の理由	商工労働課	会員数が減少したものの、中小企業勤労者数も減少しているため、加入割合は横ばいであった。						

3 目標達成に向けた取組内容と実績

R6年度に目指す状態や指標の目標達成に向けて取り組んだ内容 (改善を行った内容を中心に記載)	- 勤労者福祉施設再編に係る新施設「南部勤労者活躍支援センター」が令和6年10月に開館し、利用者の範囲を拡大するとともに、勤労者の福祉増進に加え、生活の充実・雇用の促進支援・働き方改革を推進した。 - 補助金を交付している長野市勤労者共済会では、施設利用補助券を全会員に配布することで利用者の拡大やサービスに繋がった。また、会員数の増加を目指し、ダイレクトメール発送や商工会議所の会報等に掲載をするなど周知に努めた。 - 勤労者の住宅資金、生活資金等の貸し付け原資として、長野県労働金庫に資金を預託し協調融資制度を実施した。
---	--

4 課題と今後の展開

目指す状態・指標達成に向けた課題	SDGsの視点からの課題(該当ゴール及び三側面のバランス)
働き方の多様化に伴い、個々の求める余暇活動なども多様化している中、ニーズにあった勤労者福祉の充実が求められている。	持続可能な就業につなげるためには、若者、女性、高齢者などすべての労働者が、働きがいがあり、充実した余暇を過ごし、豊かな生活を感じる環境を形成していく必要がある。
上記課題の解決に向けて必要なこと(課題解決に向けてやるべきこと)	
- 勤労者福祉施設については、施設再編の方針に沿って、「北部勤労者活躍支援センター」を着工。併せて、中部勤労青少年ホームの事業を「北部勤労者活躍支援センター」に集約し、廃止するとともに、「南部勤労者活躍支援センター」とともに充実した勤労者福祉サービスを提供する。 - 福利厚生事業を持たない中小企業の勤労者の福利厚生事業を行う「長野市勤労者共済会」に支援する。 - 協調融資制度について、現在の社会情勢を踏まえ、今後の方向性を研究する。	